

電話会議システム

ブリッジ

使用説明書

このたびは、電話会議システム「ブリッジ」をお買い上げいただきまして、
誠にありがとうございます。

目次

安全に正しくお使いいただくために	2
ご使用上の注意事項	3
1 機能	5
2 名称と働き	6
3 接続	9
4 グループリング	10
5 コマンド操作	13
6 コマンドポート	17
7 音声の入出力	18
8 主な仕様	18

安全に正しくお使いいただくために

この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな用語を使用しています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

用語の説明



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性および、物的損害発生する可能性が想定される内容を示しています。

ご注意

1. 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電時などの外部原因による通信の不具合のために生じた損害等の経済損失については、当社は一切その責任を負いかねます。
2. 本書の内容は予告なく変更することがあります。
3. 本製品は、日本国内のみで使用できます。海外では、回線に接続するための規格や電源電圧等が異なるため使用できません。本製品を海外で使用された場合、当社は一切責任を負いません。
4. 本製品を当社の許可なく複製、改変等を行うことはできません。



警告

万一、煙が出ている、異臭がするなどの場合、すぐに本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本製品のサービス担当にご連絡ください。お客様による修理は、大変危険ですから絶対におやめください。

本製品内部に水などが入った場合、すぐに本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本製品のサービス担当にご連絡ください。そのままご使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。

開口部等から本製品内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。万一、異物が本製品内部に入った場合には、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、本製品のサービス担当にご連絡ください。そのままご使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。

本装置を落としたり、ケースを破損した場合には、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、本製品のサービス担当にご連絡ください。そのままご使用を続けると、火災・感電・故障の原因となります。

内部の点検・修理等は、販売店にご依頼ください。お客様による修理は、大変危険ですから絶対におやめください。

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本装置の上や近くにコップ、花瓶、薬品、植木等水類の入った容器または、小さな金属類を置かないでください。中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

AC100ボルトの電源以外では、絶対にご使用にならないでください。火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れますと火災・感電・故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電の原因となることがあります。

電源コードに重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりねじったり、無理にまげたり、たばねたりしないでください。コードの破損による火災・感電の原因となります。

本装置を埃多い場所に置かないでください。電源は、埃等により発火する可能性もあります。火災の原因となります。



注意

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所、ちり・ほこりの多い場所には、火災・感電・故障の原因となることがありますので置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがありますので、不安定な場所に置かないでください。

直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に置かないでください。火災・故障の原因となることがあります。

次のような場所への設置は、避けてください。

- ・振動の加わる場所
- ・テレビ・ラジオなど強い磁界を発生する装置などのそば
- ・薬品のそば

近くで雷が発生した場合、電源プラグをコンセントから抜き、本装置のご使用を御控え下さい。落雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

本装置の上に乗らないでください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグ本体を持って行ってください。電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災・感電・故障の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

近くで雷が発生した場合、電源プラグをコンセントから抜き、本装置のご使用を御控え下さい。落雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

近くで激しい雷が発生した場合、出来る限り電話回線を外すようにしてください。直接、電話回線に落雷した場合または、誘導雷等により故障の原因となります。

本装置の上に乗らないでください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグ本体を持って行ってください。電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災・感電・故障の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く場合、あらかじめ電源スイッチをオフにしてください。

コミュニケーションボード及びカップラーボードは、ラック内の所定の位置以外に実装できません。所定の位置以外に実装した場合、故障の原因となります。

電源スイッチがオン状態でのコミュニケーションボード及びカップラーボードの取り外しは絶対に行わないでください。故障の原因となります。

コミュニケーションボード及びカップラーボードの取り外しは、特定のサポートエンジニア以外に行わないでください。

1 機能

『ブリッジ』は、最大 4 8 回線まで接続可能な電話会議システムです。接続されている電話からの音声を『ブリッジ』内部で合成し、再び送り返します。まるで、通常の電話の様に、同時接続されている複数の電話との会話が可能となります。

電話会議システム『ブリッジ』は 次の 3 つから構成されています。

a. **ブリッジケース**

電源が組み込まれたアルミケース。電話制御をおこなうコミュニケーションボードを最大 8 枚まで収容できる。

b. **コミュニケーションボード**

電話回線の制御と、音声合成の機能を持つボード。
電話回線を 6 回線まで収容できる。

c. **カップラーボード**

ブリッジケースに収容されたコミュニケーションボード同士を結合して 1 2、2 4、4 8 回線の会議状態を作り出す結合装置。

電話会議システム『ブリッジ』の主な機能

ミュートینگ

コミュニケーションボードに接続されている電話機からの音を、消音します。

ロックアウト

コミュニケーションボードへの新たな電話機の接続を禁止します。

パスワードロック

コミュニケーションボードに接続する際、パスワードを入力しなければ、接続できない機能。

グルーピング

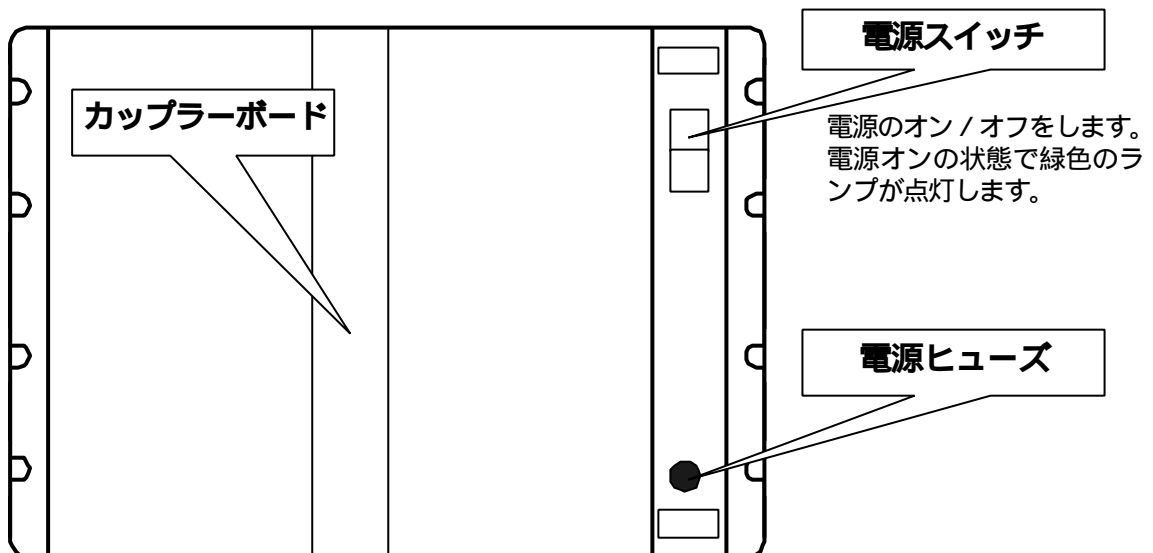
コミュニケーションボード同士の結合 (グルーピング) を行います。

2 名称と働き

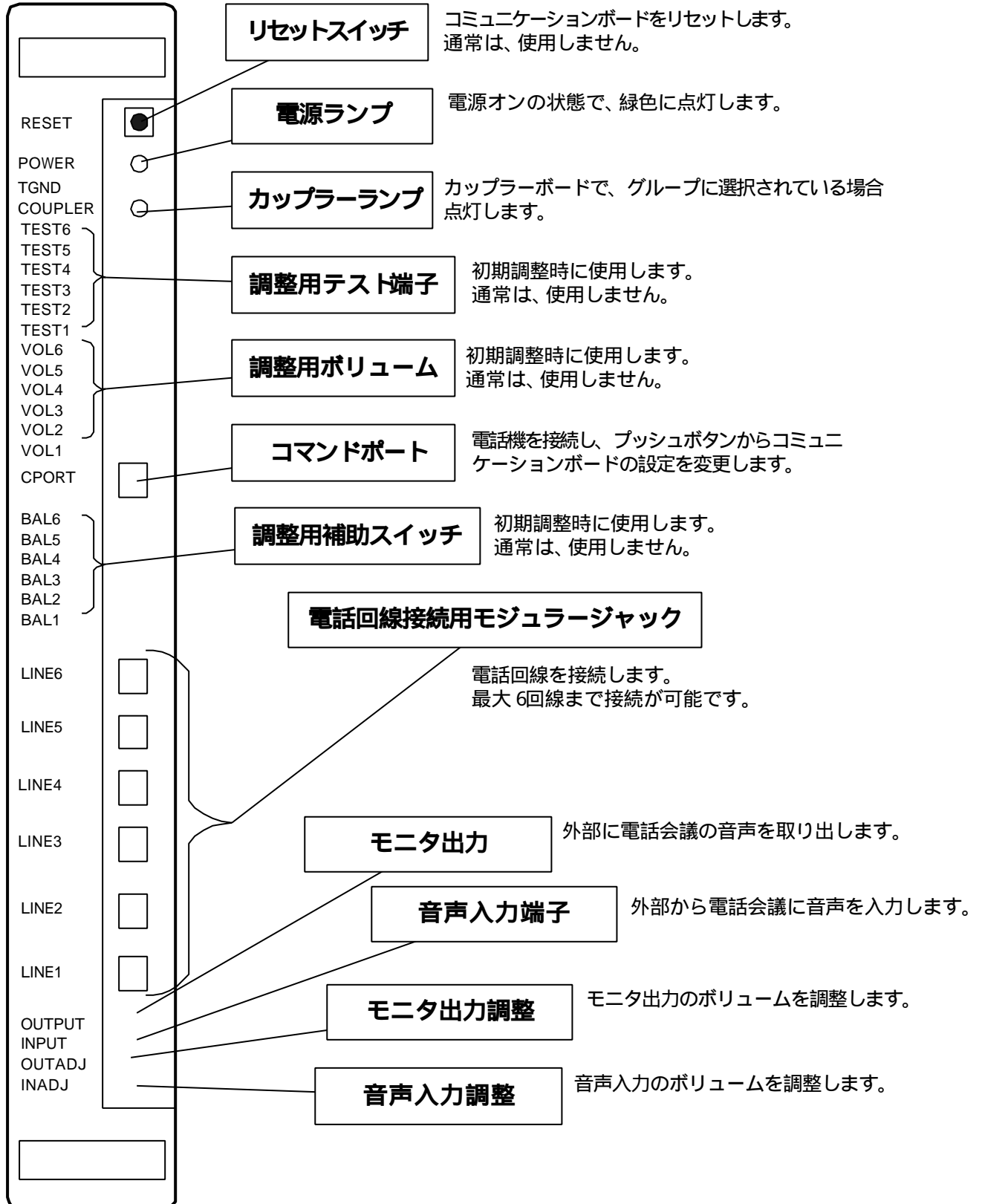
ブリッジは、電源や各ボード類を収容する「ブリッジケース」、電話回線のコントロールと音声の交換を行う「コミュニケーションボード」、各コミュニケーションボードのグルーピングをコントロールする「カップラーボード」の3つの部分から成り立っています。

ここでは、「ブリッジケース」、「コミュニケーションボード」、「カップラーボード」の名称と働きを説明します。

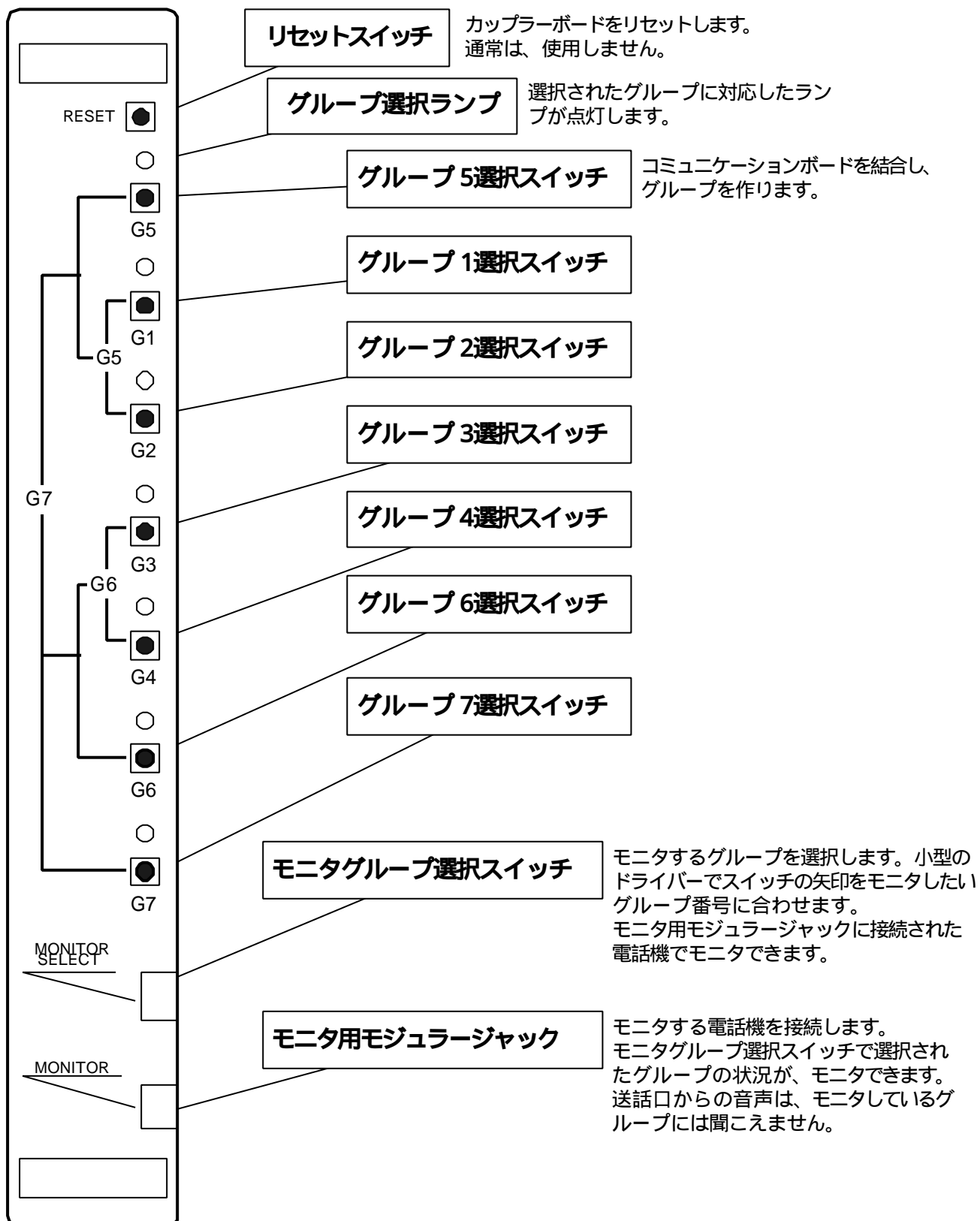
ブリッジケースの名称と働きを説明します。



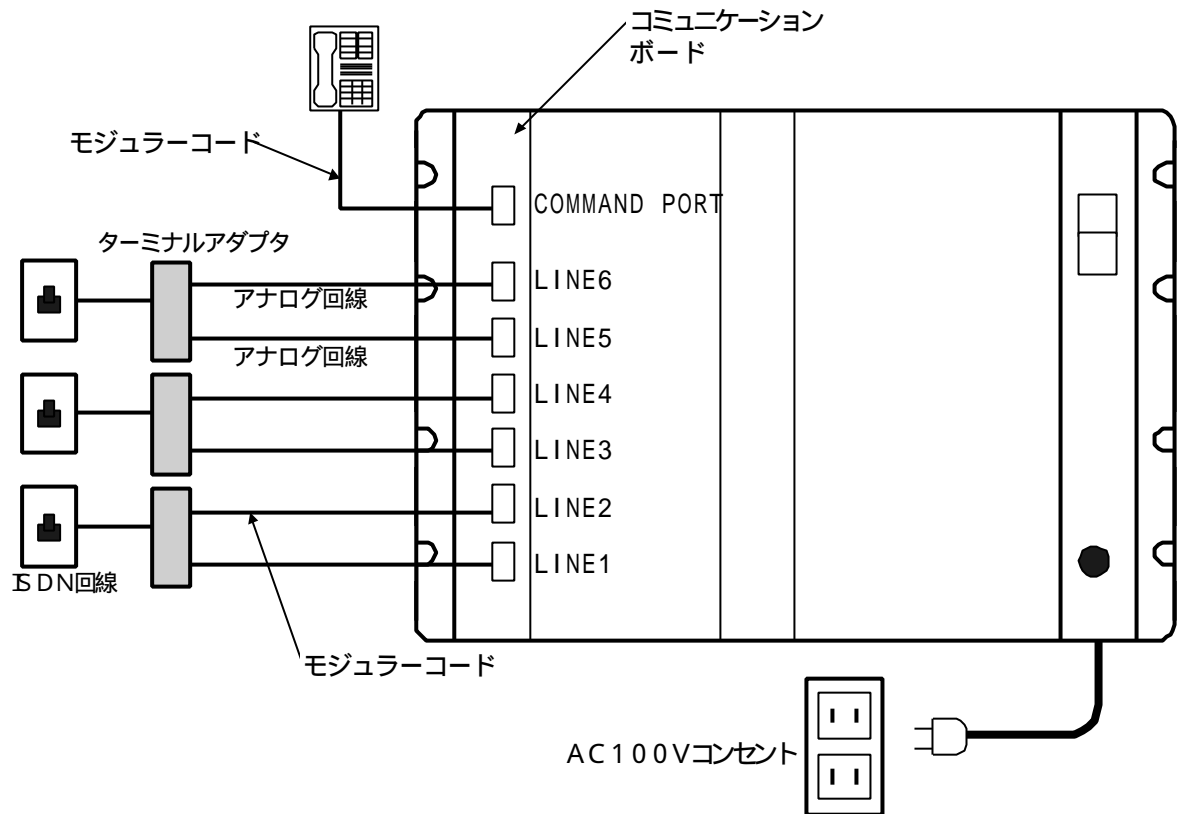
コミュニケーションボードの名称と働きを説明します。



カップラーボードの名称と働きを説明します。



3 接 続



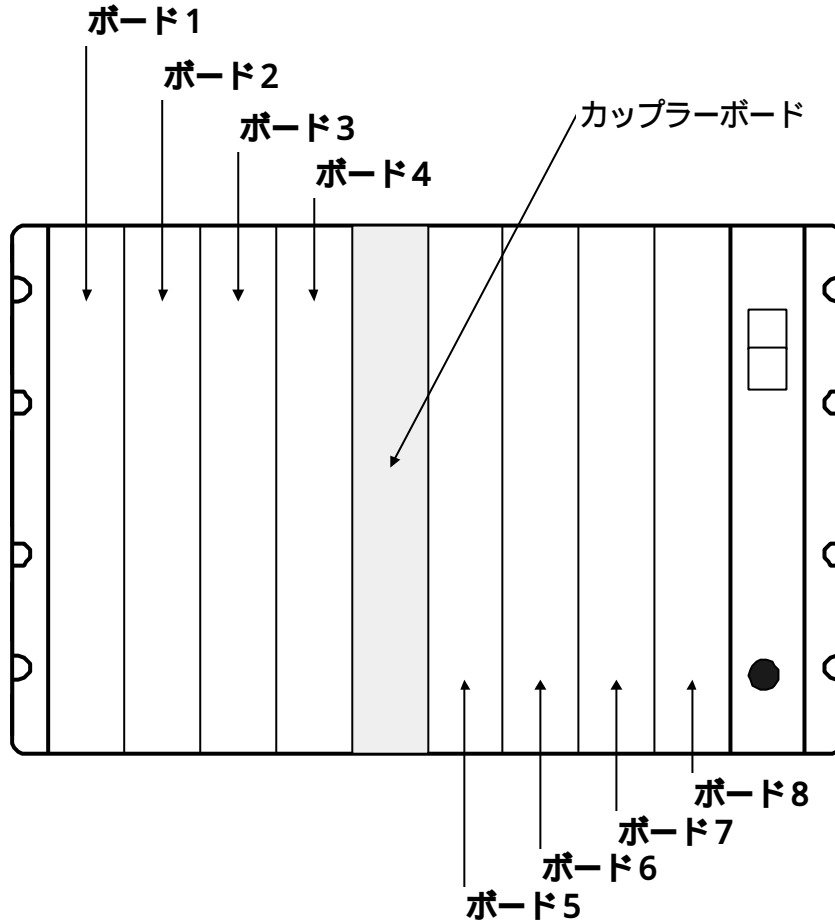
・電話回線は、通常のアナログ回線をご使用ください。

・ISDN回線をご使用の場合は、ターミナルアダプタ (TA) のアナログ電話コネクタから接続してください。

(注) 電話回線を新たに接続または、接続を変更した場合、コミュニケーションボードの調整をする必要があります。

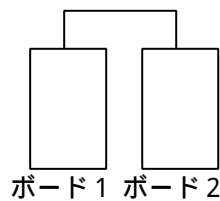
4 グルーピング

ブリッジには、最大8枚のコミュニケーションボードを収容できます。
このコミュニケーションボード同士を結合し、12、24、48回線のグループを構成できます。
コミュニケーションボードには、実装する位置により、向かって左から1～8番までボード番号が割り当てられています。



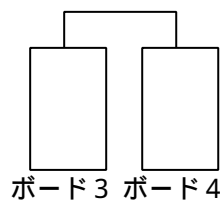
グループの構成

グループは、全部で7グループあります。



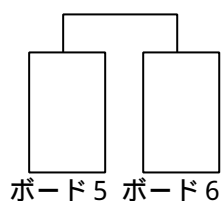
グループ1

ボード1とボード2を結合します。
12回線のグループです。



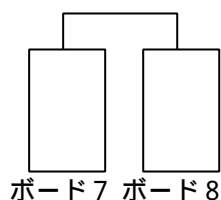
グループ2

ボード3とボード4を結合します。
12回線のグループです。



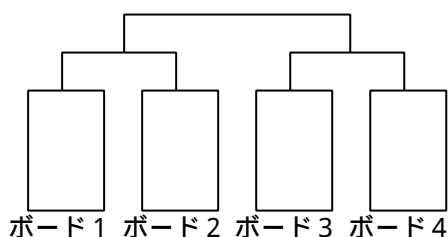
グループ3

ボード5とボード6を結合します。
12回線のグループです。



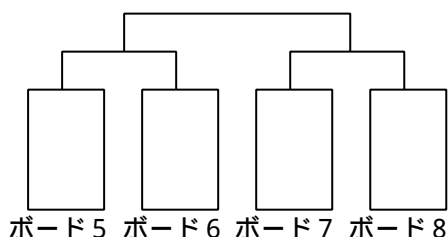
グループ4

ボード7とボード8を結合します。
12回線のグループです。



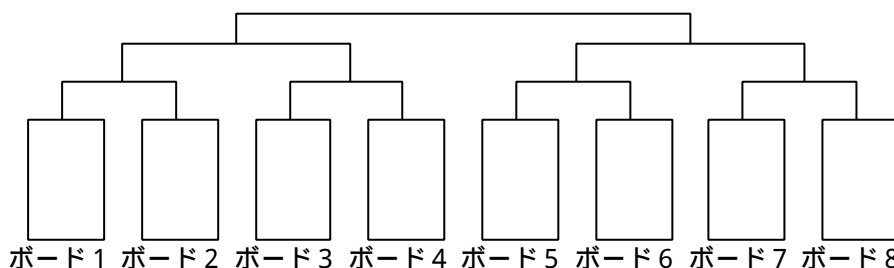
グループ5

ボード1、2、3、4を結合します。
24回線のグループです。



グループ6

ボード5、6、7、8を結合します。
24回線のグループです。



グループ7

ボード1、2、3、4、5、6、7、8を結合します。
48回線のグループです。

グループの選択

7つのグループを選択する方法を説明します。

グループの選択には、

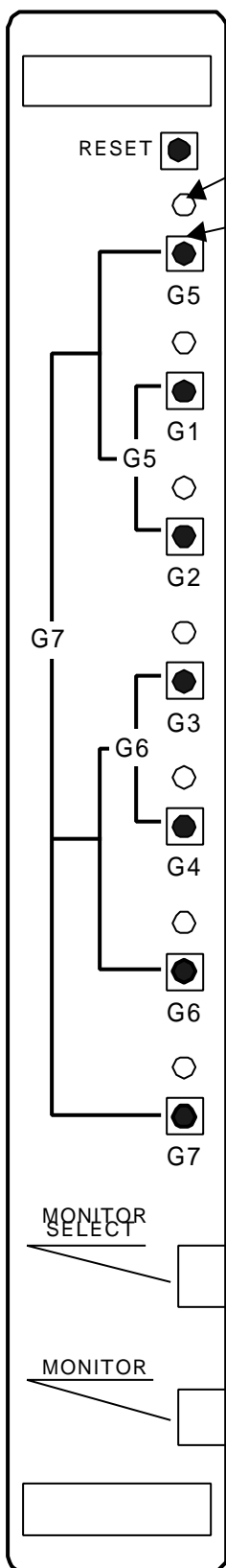
- a. カップラーボードのスイッチ操作による選択
- b. 接続された電話からのコマンド操作による選択

の2つの操作方法があります。ここでは、カップラーボードの操作について説明します。
コマンド操作については、「**コマンド操作**」を参照してください。

カップラーボードのスイッチ操作によるグループの選択

カップラーボードの正面パネルには、グループ1～グループ7を選択するスイッチが並んでいます。

この選択スイッチを操作することにより、グループの選択を行います。



グループ選択ランプ

グループ選択スイッチ

設定したいグループに対応した「グループ選択スイッチ」を押すことにより、グループを選択します。
グループが選択されると、「グループ選択ランプ」が緑色に点灯します。

グループが選択されている状態で、もう1度スイッチを押すと、選択が解除されます。

グループが解除されると、「グループ選択ランプ」が消灯します。

5 コマンド操作

コミュニケーションボードの LINE1～LINE6 に接続されている電話機のプッシュボタンの操作により、以下のような操作をすることができます。

(注)ダイヤル回線では、操作できません。

ミュート機能

コミュニケーションボードに接続されている電話機からの音を、消音します。

交通量の多い道路脇など、うるさい場所から電話をする場合、周囲の騒音により電話会議に参加している他の参加者が、とても話しづらくなることがあります。そんな時「ミュート機能」を使用し、自分の電話機からの音だけを消音することにより、快適な電話会議を行うことができます。

ミュート機能のオン/オフ 『* 1#』

ミュート機能は、トグルスイッチになっています。
『* 1#』操作で、ミュート機能がオンになります。
ミュート機能をオフするには、もう一度『* 1#』と同じ操作をしてください。

ロックアウト機能

コミュニケーションボードへの新たな電話機の接続を禁止します。

現在、コミュニケーションボードに接続している人たちだけで、電話会議を行いたい場合、ロックアウト機能をオンすることにより、新たな電話の接続ができなくなります。

ロックアウト機能のオン 『* 4#』

ロックアウト機能のオフ 『* 6#』

パスワード機能

コミュニケーションボードに接続する際、4桁のパスワード(数字)を入力しなければ、接続できないようにします。

パスワード機能のオン 『* 7#』

パスワード機能のオフ 『* 9#』

パスワードは、初期設定で「9999」となっています。

グループ切替機能

コミュニケーションボード同士の結合 (グルーピング) を行います。

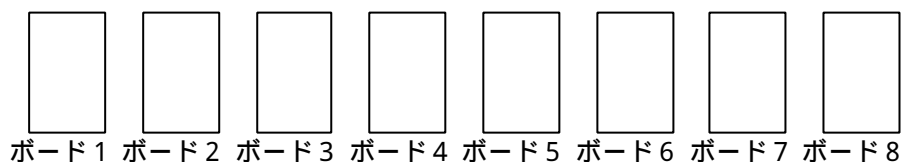
(注) カップラーボードが装着されていない場合、グループ切替機能は機能しません。

グループ切替 『* 0# #』
は、0~ 9のグループ番号

各グループ番号のコミュニケーションボードの組合せを説明します。

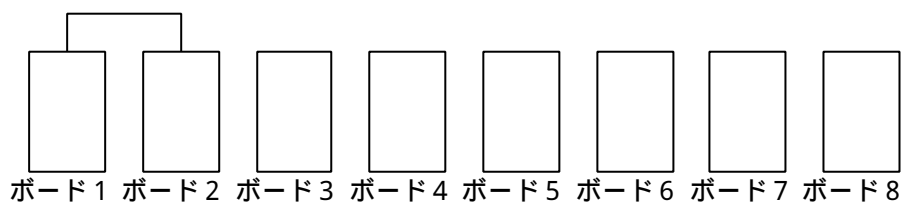
グループ番号 0

全てのグルーピングを解除します。



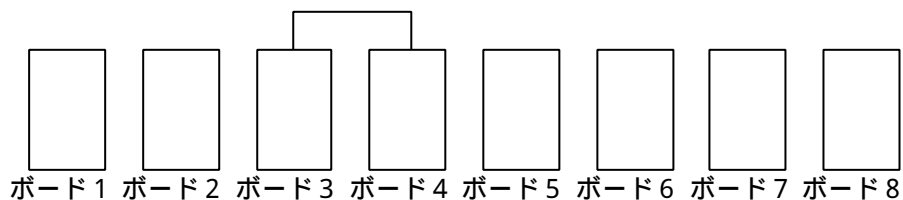
グループ番号 1

ボード1とボード2のみ結合します。その他の結合は、解除されます。



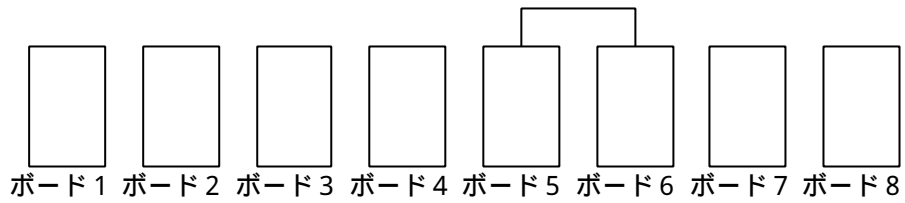
グループ番号 2

ボード3とボード4のみ結合します。その他の結合は、解除されます。



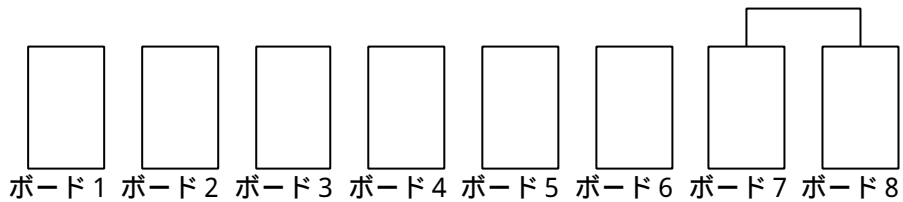
グループ番号 3

ボード5とボード6のみ結合します。その他の結合は、解除されます。



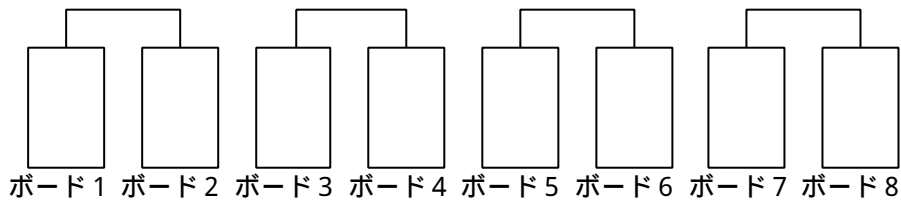
グループ番号 4

ボード7とボード8のみ結合します。その他の結合は、解除されます。



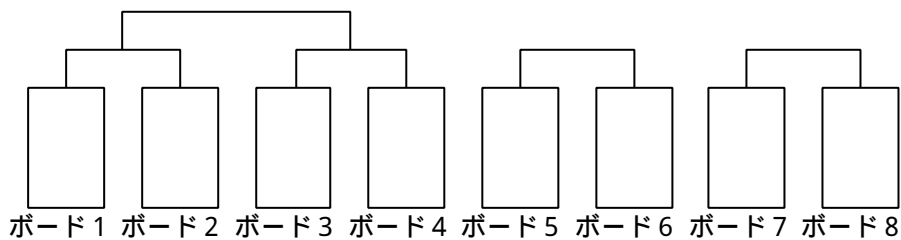
グループ番号 5

ボード1と2、ボード3と4、ボード5と6、ボード7と8をそれぞれ結合します。



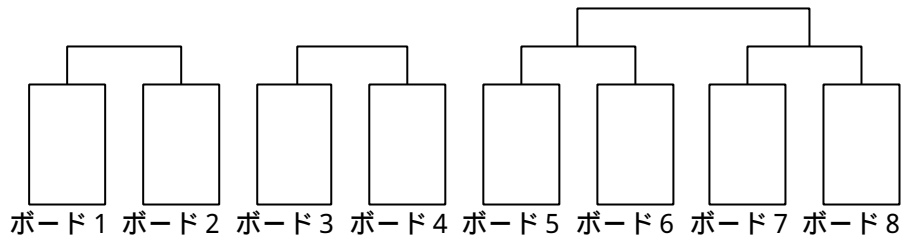
グループ番号 6

ボード1、2、3、4の結合と、ボード5と6、ボード7と8をそれぞれ結合します。



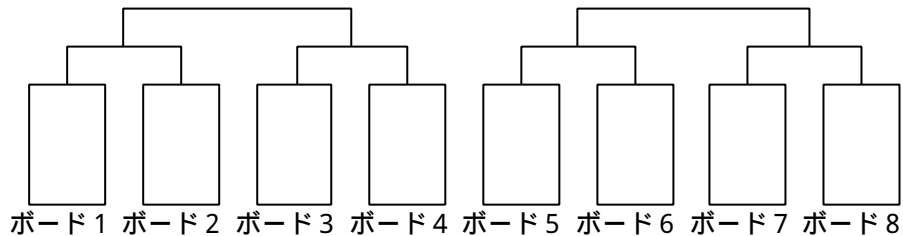
グループ番号 7

ボード5、6、7、8の結合と、ボード1と2、ボード3と4をそれぞれ結合します。



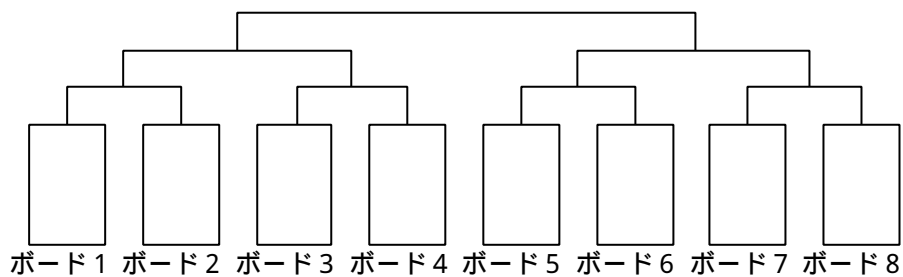
グループ番号 8

ボード1、2、3、4とボード5、6、7、8を結合します。



グループ番号 9

すべてのボードを結合します。



リセット機能

コミュニケーションボードに接続している電話回線を、全て切断し初期状態に戻します。この機能は、自分が現在接続しているコミュニケーションボード内のみで有効となります。

リセット機能 『* 3# 』

6 コマンドポート

コミュニケーションボードには、コマンドポート (CPORT) というモジュージャックがあります。ここに電話機を接続し、プッシュボタンからコマンド操作を行うことにより、コミュニケーションボードの設定を変更することができます。

パスワード変更機能

4桁のパスワード(数字)を変更し、新しいパスワードを設定します。

パスワード変更	『* 6#	#	#
...	古いのパスワード		
...	新しいパスワード		

パスワードは、初期設定で「9999」となっています。

パスワードのリセット機能

パスワードを初期設定「9999」に設定し直します。
設定したパスワードが分からなくなってしまった場合、この機能で初期設定に強制変更できます。

パスワードのリセット	『* 0# 』
------------	---------

7 音声の入出力

コミュニケーションボードのモニタ出力 (OUTPUT)、音声入力 (INPUT) 端子を用いて、電話会議の内容を取り出して録音したり、音楽や音声を外部から入力することができます。モニタ出力 (OUTPUT)、音声入力 (INPUT) 端子への接続は、モノラルのミニジャックをご使用ください。

8 主な仕様

消費電力	最大 120W AC100V 50Hz または 60Hz
使用環境	湿度 75%以内 結露等を起こさないこと 埃等の少ない環境が好ましい
寸法	幅 482.6 mm 奥行 280.0 mm 高さ 399.2 mm
電話回線	NS64 アナログ回線 または 通常のアナログ回線 通常のアナログ回線を使用した場合、音声小さくなる場合があります。